



2020年9月30日

## おかげさまで、イトーヨーカ堂は創業 100 周年を迎えます

株式会社イトーヨーカ堂（東京都千代田区、代表取締役社長：三枝 富博）は、2020年、創業 100 周年を迎えました。これまで当社を支えてくださったお客様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様にご心より感謝申し上げます。

これに際し、セブン&アイ・ホールディングス名誉会長の伊藤と、イトーヨーカ堂社長の三枝より、お客様、あらゆるステークホルダーの皆様に向けたメッセージをお伝えいたします。

### 《お客様、ステークホルダーの皆様へ》

私どもイトーヨーカ堂の歴史は、100年前に、叔父の吉川敏雄が和装に欠かせない足袋の商いを始めたことに始まります。やがて洋装の時代になるとの確信のもと、店はまもなく洋品店「羊華堂」に生まれ変わりました。戦災で一時商売は中断を余儀なくされましたが、戦後、私は母や兄とともに「羊華堂」を再開し、やがて食品、日用品を扱うスーパーストア「イトーヨーカ堂」を興しました。この100年、私たちの商売はお客様の生活の変化とともに変わり続けています。

この変化の中で一貫してきたものがあります。「信頼と誠実」という創業の精神です。私は、「お客様は来てくださらないもの。お取引先様は（商品を）売ってくださらないもの。」という母の言葉を今でも大切にしています。商人としての信用がなければ、お客様もお取引先様も相手にしてくれないということです。そして、信用は一朝一夕では生まれません。あらゆるステークホルダーの皆様と誠実に向き合い、一歩ずつ信頼関係を積み重ねることで信用は生まれます。

**私たちは、お客様に信頼される、誠実な企業でありたい。**

**私たちは、取引先、株主、地域社会に信頼される、誠実な企業でありたい。**

**私たちは、社員に信頼される、誠実な企業でありたい。**

これは当社グループの社是であり、今日まで継承されている「信頼と誠実」という創業の精神を背景としたものです。この精神を一貫して持ち続けることで、あらゆるステークホルダーの皆様との信頼関係を育み、心のこもった商売を通じて社会やお客様の求める「豊かさ」をお届けできるよう、これからも努めてまいります。

今後ともイトーヨーカ堂をはじめ、セブン&アイグループをご愛顧、ご支援賜りますようお願い申し上げます。



伊藤 雅俊

(株)セブン&アイ・ホールディングス 名誉会長

## 《お客様、ステークホルダーの皆様へ》

おかげさまで、イトーヨーカ堂は創業 100 周年を迎えることができました。これもひとえにお客様、お取引先様をはじめあらゆるステークホルダーの皆様によるお引き立ての賜物と、深く感謝申し上げます。この 100 年、私たちは自己革新を図り、お客様の暮らしの「今」に寄り添い続けることに力を注いでまいりました。その背景には、お客様をはじめたくさんのステークホルダーの皆様からのご信頼とご支援がありました。そして今日、「with コロナ」を前提とした日常生活の中で、私たちスーパーストアに求められる役割は大きく変化しています。新しい生活様式に対応した社会インフラとしての役割を果たすべく、私たちは皆様からいただいた信頼を礎（いしずえ）としながら、さらなる改革と革新に力を注いでまいります。

イトーヨーカ堂の店舗は、お買物とともに、ご家族の時間を楽しんでいただく場、地域の皆様の触れ合いの場など、いまや社会からさまざまな役割が期待されています。私たちは、社会の皆様の声に耳を傾け、より一層の改革と革新を通じて、お客様や地域社会のご期待に応える店舗づくりと質の高い商品・サービスの提供に力を注いでおります。

“いいもの。いつもの。いつまでも。”——イトーヨーカ堂は、これからもお客様の毎日の暮らしに寄り添い、安全・安心、楽しさ、快適さをお届けしてまいります。皆様にはより一層のご愛顧、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



三枝 富博

(株)イトーヨーカ堂 代表取締役社長



## 《イトーヨーカ堂ロゴマーク》

1972 年に“こどもから大人まで一目でイトーヨーカドーと認識できる”マークとして発表されました。店舗の屋上でも大きな翼を広げ、お客様と従業員を結ぶ「共感」のシンボルとなっており、白は「誠実」、赤は「情熱」、青は「清潔」を意味しています。

なお、100 周年という節目のタイミングに「社員の意識をより新しく。」「お客様との関係もより新しく。」これからも、お客様と共に輝き続けるイトーヨーカドーであるために、という思いを込めた記念ロゴマークを作成いたしました。

このロゴマークは 10 月 1 日（木）より店頭 POP や当社ホームページ等、様々なシーンで使用してまいります。



	色・形に込められた意味
丸い形	輪でつながっている
ハトの躍動感	社員の自律性
ゴールド	輝き続ける
フォントサイズ	力強さ

【100 周年記念ロゴ】

## 《イトーヨーカ堂 100 年の歩み》

時期	沿革	
1920 年	浅草山谷 3 丁目に伊藤雅俊（現名誉会長）の叔父 吉川敏雄が洋品店「羊華堂」（開店当初の店名は「めうがや」）を開業 1920 年頃の「めうがや」	
1940 年	叔父 吉川敏雄からののれん分けにより、伊藤雅俊の兄、伊藤譲が浅草に洋品店「羊華堂」を開業	
1946 年	北千住で「羊華堂」を開店。蕎麦屋の店先 2 坪から再出発する	
1948 年	3 度目の移転により現在の場所に開店し、店舗を 150 坪に拡張する 1948 年頃の千住の店舗	
1956 年	伊藤譲が急逝、伊藤雅俊が経営を継ぐ	
1958 年	「株式会社ヨーカ堂」を設立 ハトのロゴマークを制定	
1961 年	欧米流通業視察から帰国した伊藤雅俊社長（現・名誉会長）がレギュラーチェーン政策に着手。チェーン 1 号店の赤羽店誕生	
1964 年	ロゴマークを変更	
1965 年	商号を「株式会社伊藤ヨーカ堂」へ変更。店名表記を「イトー・ヨーカ堂」へ変更	
1966 年	生鮮品の取り扱いを開始	
1972 年	CI*導入にともない、新シンボルマークを制定。ロゴタイプを「イトーヨーカドー」に変更	
1996 年	中国・四川省に「成都イトーヨーカ堂」を設立(1997 年に 1 号店を開店)	
1997 年	中国・北京市に「華糖ヨーカ堂」を設立（1998 年に 1 号店を開店）	
2005 年	初のモール型ショッピングセンター「アリオ蘇我」オープン ◆アリオは 17 店舗展開中(2020 年 9 月末時点)	
2019 年	「イトーヨーカドー食品館千住店グランドオープン（2020 年 6 月に「ヨークフーズ千住店」に変更） ◆イトーヨーカドーは 135 店舗展開中（2020 年 9 月末時点）	

※CI（コーポレート・アイデンティティ）：企業の理念や特性を明確にし、イメージの統一を図ること

以上